

問に時々付けている「*」は難しかったりやや脱線気味であって，場合によっては外の問題を優先して解いてもよいことを意味する。「*」の数が多ければ多いほどその度合いが高い。

問 7.1. (Σ や X は図示してみること.)

- 1) $\Sigma = \{(x^1, x^2, x^3) \in \mathbb{R}^3 \mid (x^1)^2 + (x^2)^2 + (x^3)^2 = r^2\}$, $r > 0$, $f(x^1, x^2, x^3) = 1$ とする. 面積分

$$\int_{|\Sigma|} f dA$$

を求めよ.

- 2) $\Sigma = \{(x^1, x^2, x^3) \in \mathbb{R}^3 \mid (x^1)^2 + (x^2)^2 + (x^3)^2 = r^2\}$, $r > 0$, $f(x^1, x^2, x^3) = (x^1)^2 + (x^2)^2$, $g = r^2 - (x^3)^2$ とする. 面積分

$$\int_{|\Sigma|} f dA, \int_{|\Sigma|} g dA$$

を求めよ.

- 3) $\Sigma = \{(x^1, x^2, x^3) \in \mathbb{R}^3 \mid (x^1)^2 + (x^2)^2 + (x^3)^2 = r^2\}$, $r > 0$, $X = x^1 \frac{\partial}{\partial x^1} + x^2 \frac{\partial}{\partial x^2} + x^3 \frac{\partial}{\partial x^3}$ とする. 面積分

$$\int_{\Sigma} X \cdot d\mathbf{A}$$

を求めよ.

- 4) $\Sigma = \{(x^1, x^2, x^3) \in \mathbb{R}^3 \mid (x^1)^2 + (x^2)^2 + (x^3)^2 = r^2\}$, $r > 0$, $X = \frac{\partial}{\partial x^1}$ とする. 面積分

$$\int_{\Sigma} X \cdot d\mathbf{A}$$

を求めよ.

※ 球面だけではなく，いろいろな曲面（曲面片）と函数，ベクトル場について面積分を求める練習をしておくこと. 線積分についても同様である.

問 7.2. $D \subset \mathbb{R}^2$ とし, $\varphi: D \rightarrow S \subset \mathbb{R}^3$ を曲面片とする. 座標を入れ替えて $D' = \{w = (w^1, w^2) \in \mathbb{R}^2 \mid (w^2, w^1) \in D\}$, $\varphi'(w) = \varphi(w^2, w^1)$ とすると, $\varphi: D \rightarrow S$ と $\varphi': D' \rightarrow S$ は S に逆の向きを定めることを示せ.

問 7.3. \mathbb{R}^2 上のベクトル場 X, Y を

$$X = x^1 \frac{\partial}{\partial x^1} + x^2 \frac{\partial}{\partial x^2},$$

$$Y = -x^2 \frac{\partial}{\partial x^1} + x^1 \frac{\partial}{\partial x^2}$$

により定める.

- 1) $p \in \mathbb{R}^2 \setminus \{(0,0)\}$ ならば $X(p), Y(p) \in T_p \mathbb{R}^2$ は線型独立であることを示せ.
- 2) X, Y を $\mathbb{R}^2 \setminus \{(0,0)\}$ 上で極座標 (r, θ) , ただし $(x^1, x^2) = (r \cos \theta, r \sin \theta)$, を用いて表せ.

ヒント: 問 2.9 を用いると良い.

- 3) X に対応する \mathbb{R}^2 上の 1-形式は $x^1 dx^1 + x^2 dx^2$ であることを確かめよ^{†1}. また, Y に対応する \mathbb{R}^2 上の 1-形式 ω を求めよ.

- 4) $\gamma: [0, 1] \rightarrow \mathbb{R}^2$ を $\gamma(t) = (\cos t, \sin t)$ により定める. $\int_{\gamma} X \cdot dr, \int_{\gamma} Y \cdot dr$ を求めよ.

- 5) \mathbb{R}^2 上のベクトル場 $Z = f^1 \frac{\partial}{\partial x^1} + f^2 \frac{\partial}{\partial x^2}$ について $r(Z) = \frac{\partial f^2}{\partial x^1} - \frac{\partial f^1}{\partial x^2}$ と定める. $r(Z): \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$ である. $r(X), r(Y)$ を求めよ. また, $D = \{u \in \mathbb{R}^2 \mid \|u\| \leq 1\}$ とするとき, $\int_D r(X) du^1 du^2, \int_D r(Y) du^1 du^2$ を求めよ. ここで $u = (u^1, u^2)$ は \mathbb{R}^2 の標準的な座標である.

※ $\gamma = \partial D$ が成り立つことに注意せよ.

- 6) X のスカラーポテンシャルを一つ求めよ. また, Y のスカラーポテンシャルは存在しないことを示せ.

ヒント: $Y = \text{grad } f$ と仮定して $r(Y)$ を計算してみよ.

- 7) $\gamma: [0, 1] \rightarrow \mathbb{R}^2 \setminus \{(0,0)\}$, $\gamma(0) = \gamma(1)$ とする. $\gamma(t) = (\cos 2\pi nt, \sin 2\pi nt)$ とするとき, $\int_{\gamma} \omega$ を求めよ.

- 8**) 7) と同じ条件をみたすいろいろな γ について $\int_{\gamma} \omega$ を求め, 必ず 2π の整数倍になることを観察せよ. 可能であれば証明を考えてみよ.

問 7.4. 問 7.1 の 3), 4) について, X に対応する 2-形式 ω を求めよ. また, $\int_{\Sigma} \omega$ を求めよ.

※ X に対応する 1-形式と ω とは当然異なる.

^{†1}厳密には \mathbb{R}^2 には \mathbb{R}^2 の標準的なユークリッド計量により定まるリーマン計量を入れている.

問 7.5. \mathbb{R}^3 上のベクトル場 X, Y を

$$X = -x^2 \frac{\partial}{\partial x^1} + x^1 \frac{\partial}{\partial x^2}$$

により定める. ここで $x = (x^1, x^2, x^3)$ は \mathbb{R}^3 の標準的な座標とする. また,

$$T = \{x \in \mathbb{R}^3 \mid \exists \theta, \rho \in \mathbb{R}, (x^1, x^2, x^3) = ((\cos \theta)(2 + \cos \varphi), (\sin \theta)(2 + \cos \varphi), \sin \varphi)\}$$

と置く.

1) X, T を図示せよ.

2) X に対応する \mathbb{R}^3 上の 2-形式は $-x^2 dx^2 \wedge dx^3 + x^1 dx^3 \wedge dx^1$ であることを確かめよ.

3) $Z = f^1 \frac{\partial}{\partial x^1} + f^2 \frac{\partial}{\partial x^2} + f^3 \frac{\partial}{\partial x^3}$ について

$$\operatorname{div} Z = \frac{\partial f^1}{\partial x^1} + \frac{\partial f^2}{\partial x^2} + \frac{\partial f^3}{\partial x^3}$$

と定める. $\operatorname{div} X$ を求めよ.

(以上)